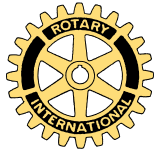


## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日  
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30 ~ 13:30  
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL <0566>22-2111  
FAX <0566>25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 加藤 真治  
幹事 兵藤 文男  
会報委員長 山下 雅則

2015 ~ 2016年度 国際ロータリー K.R. ラビンドラン 会長テーマ

Be a gift to the world 世界へのプレゼントになろう

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第2912回例会プログラム

[当年度=22回目；当月=3週目]

2016年（平成28年）1月18日(月)

## 1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点鐘……〈会長〉  
3. 開会宣言  
4. ロータリーソング斉唱  
……それこそロータリー  
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
6. 食事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告  
8. お祝い  
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)  
9. 幹事報告  
10. 出席報告  
※第2四半期皆出席の発表(出席委員会)  
11. 委員会報告  
12. ニコニコボックス報告  
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(1/25) ……職場例会(職業奉仕委員会)  
12:30~アイシン精機株式会社  
(紹介者 吉原 孝彦 会員)  
(2/1) ……  
卓話 「FC刈谷の現状」  
講師 FC刈谷 会長 犬飼 博樹 様  
" 事務局長 松永 諭 様  
(紹介者 下谷 敏朗 会員)

- 13:00 14. 本日のプログラム  
卓話 「日本一安心安全なまちづくり」  
について  
講師 刈谷市長 竹中 良則 様  
(紹介者 鈴木文三郎 会員)

15. 謝辞  
16. 点鐘……〈会長〉  
17. 閉会宣言

13:30 18. 散会

## ビジター

京都 RC 山中 秀男 様  
京都 RC 柏原 康夫 様

## ゲスト

刈谷市企画財政部広報広聴課  
秘書係長 酒井 隆 様

## 出席

会員総数 96名 出席免除 23名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 89名  
欠席 7名 出席率 92.13%  
前々回(12/21)の修正出席率 100%

## 会長報告

- 1) 1月12日刈谷警察署からの感謝状贈呈式に行  
て参りました。  
2) 京都 RC とのバナー交換をおこないました。



## 幹事報告

- 1) 西尾・知立・刈谷3RCの友愛コンサートに出かけて参りました。素晴らしい演奏を聞かせて頂きました。



## 会長あいさつ

### 雲はどのようにできるのか？

加藤 真治



雲、もう少し正確に言いますと雲の核となる物質はどのように生成されるのか、現代科学では未だ解明されていません。水蒸気がどんなに大量にあったとしても水蒸気だけでは、雲は生まれません。水蒸気の中で水滴が成長し雨粒になるには、一般的にはエアロゾルといわれる核となる50nm（ナノメートル）大の物質が必要となります。この生成過程を説明する理論が確立していないのです。

デンマーク宇宙研究所のヘンリック・スベンスマルクは2003年から3年間にわたる「SKY」という名称の実験を行い、2005年に論文を書き上げました。その要旨はこのようなものです。「気象衛星の観測により、地球を覆う雲の量が数年間の間にリズムカルに増えたり減ったりする変化は、太陽の黒点数の増減の変化による太陽風の影響の変化と一致することが示された。これは、太陽風の強弱の変動により太陽系外からやってきて地球に到達する宇宙線の数が増減するからです。このことに促されて、大気中の化学反応を確かめるSKY実験が行われた。その実験により、宇宙線が地球の大気と衝突することにより解放された電子は、硫酸分子同士が凝集することを促進する触媒的作用をすることが示された。この硫酸分子同士が凝集したものが、雲凝縮核の最も重要な供給源である。」欧州合同原子核研究機構（CERN）のカークビーらは、精密な雲核生成実験（CLOUD実験）を行い、その結果が2012年に報告されました。その1つは、宇宙線によるイオンの効果で直径1.7nm以上の微小核の生成は、地表温度の19℃では2倍程度増加し、気温5℃～-25℃の低温の環境では10倍以上になった。2つ目は、水と硫酸以外にアンモニアを含めた場合には、あらゆる温

度で核生成率が10倍以上増加することが実証されました。

CLOUD実験からは、イオンの効果が明確に表れる環境は、高度5km以上の対流圏の中層以上に対応するのに対し、スベンスマルクが宇宙線との相関を指摘したのは3.2km以下の対流圏下層であることと、核生成物質の大きさが2nmと小さすぎることから、スベンスマルク説は直ちに実証されず、未だ雲がどうしてできるか解明されていません。

## お祝い

1月の会員の誕生日…神谷光義、原田光二、橋典子、岡本巧、石川覚雄、浅岡幸雄、兵藤文男、稲垣俊彦、小川耕示、加藤貴紀会員。

配偶者の誕生日…坂貞子（茂）、杉山恵美子（欣輝）、原田トモ子（光二）、杉浦真佐子（世志朗）、小野みどり（雄司）、鈴木ゆかり（文三郎）、小澤敏子（陽一）、堀田みゆき（昌義）、稲垣貴子（俊彦）、石川将典（友美）、新海好美（伸二）、中川久子（耕児）、菅野美智子（貴之）様。  
結婚記念日…池田憲司、加藤哲也、杉浦芳一、稲垣俊彦、角谷広高、吉岡秀記会員。

1月度入会記念日…杉浦世志朗、鈴木文三郎、下谷敏朗、加藤大志朗会員。

## 還暦のお祝い



兵藤 文男 会員

## 「日本一安心安全なまちづくり」について 刈谷市長 竹中 良則 様



本日は、お招きを頂きましてありがとうございます。

昨年7月より、3期目の市政を担当させて頂いており、「日本一安心安全なまちづくり」を目指して、全力を尽くしてまいります。

安心というと防災、安全というと防犯や交通安全と受け取られがちですが、私の考える安心安全は、市民の日常生活、暮らしの全てが安心安全につながるよという意味であります。「防災・防犯」、「子育て支援・教育・福祉」、「物流ネットワークの形成」の三本柱を重点施策に位置づけ、市民の皆様が住みやすさを実感できるまちの実現を図るための取組みを積極的に進めてまいります。

それでは、重点施策の3本柱について、順にご説明させて頂きます。

まず、1つ目の柱、「防災・防犯」でございます。

「防災」の関係です。平成26年5月、愛知県が南海トラフ巨大地震に対する被害想定を公表しました。刈谷の場合、建物・人的被害想定は揺れによる全壊棟数が約6,400棟、死者数が約400人となっております。本市では、今年度から第3次地震対策アクションプランがスタートしており、その中にある89のアクション項目を着実に実施していくことで、被害を少しでも減じたいと考えております。

「防犯」の関係です。街頭防犯カメラを市内全域に設置していくもので、今回のマニフェストの中で1,000台設置という大きなテーマを掲げさせて頂きました。今年度は210台の設置を予定しております。また、市内に設置してある防犯灯を全てLED灯に交換してまいります。LED化することで、修繕費や電気料金を削減することができます。今年度は2,000灯を交換してまいります。これらの取り組みにより、治安の良い、犯罪の起こりにくいまちをつくっていきたくと考えております。

続いて、2つ目の柱、「子育て支援・教育・福祉」でございます。

「子育て支援」の関係です。今後も、保育園の新設や改築などを計画的に進め、保育園の定員を増やし、待機児童の解消を図ってまいりたいと考えています。さくら保育園を現在の保育園南側の神田公園の一部に移転し、保育環境の向上と併せて定員の増も図ってまいります。今年度建設工事が完了し、本年4月に開園予定です。そして、重原幼稚園を転用した保育園が開園するまでの間、3歳未満児を対象に現園舎を一時活用する予定です。また、富士松北保育園を西側園庭に改築し、同様に定員の増を図ってまいります。今年度は実施設計を行っており

ます。

民間保育所を設置する社会福祉法人に対して、建設費や運営費を補助しており、今年度は新たに「刈谷ゆめの樹保育園」が開園し、90人の定員増となりました。今後も、民間保育所を誘致することで待機児童の解消に努めてまいります。

続きまして、「教育」の関係です。次世代を担う子どもたちの学ぶ環境をしっかりと整備していく必要があると考えております。小垣江東小学校の敷地内に、肢体不自由に特化した特別支援学校を刈谷市立として新規に建設し、肢体不自由児及び親御さんのご負担を少しでも軽減していきたいと考えており、平成30年4月の開校を予定しております。また、老朽化した神田町の第一学校給食センターを移転し、建て替えをしてまいります。今年度はともに実施設計を行っております。

近年、既設の天井扇風機だけでは暑さを和らげることに限界がある日も見受けられ、児童生徒の安全と教育環境の向上を図ることを目的に、市内21小中学校の普通教室等に空調設備を設置してまいります。

また、老朽化により機能が低下している小中学校建物の内外装を一斉に改修する大規模改造を中心に、建物個々の状況に応じた必要な改修を施すとともに、老朽化が著しく進んだ建物については劣化度調査を実施したうえで改築を検討してまいります。今年度は、日高小学校の南校舎と富士松中学校の中校舎を改修し、校舎の機能回復を図ってまいります。また、刈谷東中学校の中校舎と南校舎の改築工事のための設計を行っております。

続きまして、「福祉」の関係です。医療の面では現在、市内の診療所と刈谷豊田総合病院をインターネットで結んで、カルテのやりとりなどができるKTメディネットが稼働しています。同様にインターネットを活用し、在宅医療・介護の従事者間が各々の訪問時の状況等を効率的に情報共有することができるシステムを立ち上げていきたいと考えております。

最後に、3つ目の柱、「物流ネットワークの形成」でございます。

本市の中心部には西三河地域のモノづくりを牽引する自動車関連産業の大規模事業所が集積しており、活発な産業活動を展開しております。しかしながら朝夕の通勤時を中心に慢性的な渋滞が発生し、企業活動や市民生活の快適性・利便性の面で支障になっており、道路等の基盤整備、特に物流ネットワークの形成が必要不可欠であります。本日は物流ネットワークを形成する路線の内、未供用区間のある4路線について説明致します。

まずは名古屋岡崎線です。刈谷ハイウェイオアシスの開園に合わせ、豊田市境から豊田知立線までは、暫定2車線整備が完了しておりますが、豊田知立線から豊田市境までの765mが未整備となっております。県事業の状況は、今年度、準用河川草野川改修事業の進捗に合わせ、豊田知立線から草野池西側を通る市道01-4号線までの道路予備設計を行っております。

次に、(仮称)刈谷スマートインターチェンジ(IC)

の整備です。本市では、伊勢湾岸自動車道の豊田南 IC から豊明 IC 間においてスマート IC の設置を検討しています。昨年 6 月 30 日に国よりその必要性が認められ「準備段階調査箇所」に選定され、9 月 18 日に第 1 回刈谷スマート IC 準備会を開催致しました。

次に豊田刈谷線です。事業化区間は伊勢湾岸自動車道から一里山町金山交差点までの区間であり、暫定 2 車線での整備を行います。県事業の状況は、豊田市域は圃場整備により道路用地が確保できることもあり、平成 29 年度末の道路整備完了を予定しております。本市域は市境に近い住宅地の用地取得を進めており、用地取得の目処がたった段階で未着手区間の用地測量を行っていく予定でございます。

次に小垣江安城線です。事業区間は国道 23 号から国道 419 号までの 1,900m であり、暫定 2 車線で整備を行います。今年度は全線の用地測量を実施しており、明治用水のボックス工事、芦池用水路の付け替え用地を取得予定でございます。来年度以降は国道 23 号・安城市側から用地取得を進め、その後、刈谷市側の用地取得を進めていく予定でございます。

次に名古屋碧南線です。本路線は名古屋市南部と衣浦港を結ぶ幹線道路であります。河川改修のため老朽化した市原橋・逢妻橋・境川橋・緒川橋の改築を行います。この改築により水害対策が図られるだけでなく、片側歩道から両側歩道になり、車道幅員も広がることから道路利用者の安全性・快適性が図られます。昨年度より、道路予備設計を実施しております。

ご説明しました 4 路線は、物流ネットワークを形成する重要な路線でございます。県事業であり、予算措置、事業化及び整備時期が未確定な部分がございますが、今後も各種要望活動を行うとともに、積極的に事業協力を行い、早期事業化、整備に努めてまいります。

現在、「刈谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しており、本日、ご紹介したもの以外にも多くの取組みが計画されております。皆様が「元気で幸せ」を実感頂けるよう、また、次世代を担う子どもたちに夢と希望を与えるよう、皆様方のご理解とご協力を頂きながら、しっかりと進めてまいりたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。